

2020 IMP Kart Race 特別規則書



主催：井頭モーターパーク (株)シンサン

2020 IMP Kart Race 開催概要

この規則書は、より良い大会にする為、大会期間中であっても見直しする場合があります。変更の場合は、当サーキットのHP上でお知らせします。皆様のご理解・御協力お願いします。

○開催趣旨

井頭モーターパーク レーシングコースで、カートレースのシリーズ戦(年間 7 戰の獲得ポイントで争うレース)を開催します。

当サーキットでスポーツ走行されている方は勿論、本格的にレースに参加されている方、これからレース参加を考えている方など『ロープライスで誰でも参加しやすいレース』をテーマにした大会です。

個人のスキルUPや、皆様方の交流と、親睦を深めることも目的としています。

又、マイカートがない人にはレンタルカートクラスも設定しましたので、安全にカートに乗れる方であれば誰でも参加可能です。気軽にご参加下さい。

○大会名

2020 IMP Kart Race

○開催場所

井頭モーターパーク レーシングコース(620m)

○オーガナイザーの名称と住所

株式会社 リンサン

〒321-4415

栃木県真岡市下籠谷 468-2

TEL:0285-80-5440 FAX:0285-80-5441 HP <http://www.linson.co.jp/>

○日程

●全 7 戰のシリーズ戦

- ・第 1 戰: 4 月 5 日(日) 確定
- ・第 2 戰: 5 月 10 日(日) 暫定
- ・第 3 戰: 6 月 14 日(日) 暫定
- ・第 4 戰: 7 月 12 日(日) 暫定
- ・第 5 戰: 8 月 10 日(月祝) 暫定
- ・第 6 戰: 9 月 13 日(日) 暫定
- ・第 7 戰(FINAL): 10 月 11 日(日) 暫定

※上記の日程は暫定ですので、変更になる場合があります。

○開催概要

クラス分けされた車両により、スプリントレースを開催します。

○開催クラス及び参加定員

●スプリントレース(個人戦)

- ・RK4 クラス(IMP4stレンタル車両:GX200、又は同等車両): 16 台
- ・OPEN クラス(エンジンフリークラス): 16 台
- ・コマー60 クラス(comer W60): 16 台
- ・IMPカデットクラス(KT100SECカデット仕様): 16 台
- ・DUNLOP FD クラス(KT100): 16 台
- ・GT2 クラス(2st ピストンバルブ 100ccクラス): 16 台

※各クラスともに4台未満(3台以下)の場合は、当該クラスは基本的に不成立(中止)となります。

※各クラスともに参加台数が12台未満(11台以下)の場合は、他クラスとの混走になる場合があります。

○参加料金

●スプリントレース

・参加料金にはドライバー1名、ピットクルー1名分の登録料が含まれます。(ピットクルーが居なくとも同額)

1)RK4 クラス:IMPレンタルカート1台 12,000円(エントリー費込み)新品、又は中古ドライタイヤ使用

2)全てのクラスのマイカート1台 10,000円(参加者は午前中のスポーツ走行料が無料)

3)GT2 クラス:IMPレンタルカート1台 20,000円(エントリー費込み)Rd.1のみ新品ドライタイヤ付

※Rd.2 以降は Rd.1 で使用したタイヤをレース専用として継続し使用します。

4)追加ピットクルー(2人目以降)登録料(1名):1,000円

※レンタルカートのスポーツ走行は別途有料となります。但し、車両が用意できる場合のみ対応します。

※ダブルエントリー(スプリント2クラス参加)の方は、片方のクラスのエントリー費から2,000円引きします。

○エントリー受付期間

●レース開催1ヶ月前から7日前まで

○エントリー方法及び注意事項

●所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加料金を添えて井頭モーターパーク レーシングコース受付に提出、若しくは現金書留にて郵送して下さい。(期限はレース開催日の1週間前までとし到着順を優先します。)

郵送先 : 〒321-4415 栃木県真岡市下籠谷 468-2 株式会社 リンサン 井頭モーターパーク宛

TEL:0285-80-5440 FAX:0285-80-5441

※止むを得ない理由で来場できない場合は、受付期間中にFAXまたはEメールでの申し込みも可能とします。

但し、レース前日までにエントリー用紙(原紙)と参加料金を提出して下さい。

※キャンセルは、FAX、Eメールでの申し込みをされた方を含め全員、レース開催7日前からは出来ません。

※レンタルカートを希望の場合は台数に限りがある為、事前予約して下さい。(先着順です)

※各クラスともに4台未満(3台以下)の場合は基本的に不成立(中止)となりますが、参加者の同意を得て、賞典無しの混走レースになる場合があります。

※レースの成立するクラスが少ない場合は、大会を延期、又は中止する場合があります。

※IMPレンタルカートを使用する方は、車両トラブルの理由により、レースの始めから出走できない場合があります。その場合、エントリーレートは返還されます。但し、車両がコース上を少しでも走行した場合は出走となり、エントリーレートは返還されません。又、車両は、トラブル等により、以降の使用が不可となる場合があります。

○参加資格

●次の何れかに該当する方が対象です。

・当サーキットのレーシングコースでレース前日までに、スポーツ走行またはレンタルカート乗車の実績がある方

・過去にレース経験のある方(他サーキットを含む)

・SL又は、JAFカート会員の方

・特別に井頭モーターパークが参加を認めた方(年齢制限はなし)

・RK4 クラスに参加される方のみ、IMPレンタルコースの4st車両に乗車経験(レース含む)がある方

※満18歳未満の方は、保護者の同伴・同意が必要となります。尚、無条件で出場できる最低年齢は小学5年生(満11歳)とします。但し、IMP カデットクラスのみ小学2年生(満8歳)以上から可能とします。又、**満18歳未満の方は、親権者の承諾を要しますので、親権者が自筆にて、署名・捺印し、参加申込書を提出して下さい。**

※自分の行動や他の選手、ピットクルー、応援団に対しても、紳士的な対応をとれる方が対象です。ルールを守らない、マナーが悪い等、他人に迷惑をかける方は参加をお断りする場合があります。

○1 チーム登録人数

- スプリントレース:ドライバー1名、ピットクルー2名まで登録可

※ピットクルー登録料は1名まで無料、2人目は¥1,000となりますが、居ない場合(0人)でも参加はできます。

○車両抽選(IMPレンタル車両のみ)

- RK4クラス、GT2クラスのIMPレンタル車両を使用する方は、第1戦のみ当日の受付順で抽選し決定します。又、レースごとに車両抽選はせず、1日同じ車両を使用します。

- 上記クラスで第2戦目以降は、シリーズ順位表(ポイント表)の下位のチーム(ドライバー)から車両を選択する権利が与えられます。(新規チームの場合は最優先となり、その中からエントリー順で優先順位が決まります。)又、レースごとに車両抽選はせず、1日同じ車両を使用します。

- 割り当てられた車両に対しクレームをつけることは一切出来ません。又、基本的に車両交換も不可です。

- レース中、自然的に車両トラブルがあった場合、修理できるものに対してのみ対応します。(事故は除く)

※レースに参加されるIMPレンタル車両を使用する方は、前のレースで自分のチームが使用する車両にトラブル等が起き、走行が不能となった場合は、予備車両があれば交換になります。又、予備車両の台数よりもチーム数が上まわった場合は、抽選で決定し、ハズレを引いたチームは残念ながら出走は出来なくなります。尚、他のチーム員・ドライバー・主催者・オフィシャルなどに抗議は出来ませんのでお願いします。

○車両検査-1(出走前簡易車検)

- 参加車両の車両検査はタイムスケジュールに従って、各自のピットで検査員の訪問車検が行われる為、必ず車両を準備しピットで待機して下さい。

- 車検時には、車両・装備(服装)の検査が行われる。(装備、及び技術規定、車両規定の項目を参照して下さい。)

- 車検に合格していない車両で、特に危険と判断された場合は、参加を認められない場合があります。

- 主催者及び役員(オフィシャル)は大会中、必要に応じて随時車両の検査を行う権限を有する。

※基本的に、通常のスポーツ走行が可能な車両と装備であれば問題ないです。

○ドライバーズブリーフィング

- 競技に関する要領説明などを行う為、ドライバー本人が必ず出席しなければなりません。

○レース内容

●スプリントレース

- ・RK4・OPEN・コマーレ60・IMPカデット・DUNLOP FD・GT2の各クラス

公式練習 5分

タイムトライアル 5分

予選ヒート 12周 (レース距離: 620m × 12周 = 7,440m)

決勝ヒート 15周 (レース距離: 620m × 15周 = 9,300m)

※各クラスともに4台未満(3台以下)の場合は、当該クラスは基本的に不成立(中止)となります。

※各クラスともに参加台数が12台未満(11台以下)の場合は、他クラスとの混走になる場合があります。

○スプリントレース(RK4クラス・OPENクラス・コマーレ60クラス・IMPカデットクラス・DUNLOP FDクラス・GT2クラス)

●公式練習

- ・各クラスともに5分間の公式練習を設け、必ず1周以上の走行を義務づけます。(計測用トランスポンダーのチェックも兼ねます。)

●タイムトライアル

- ・各クラスともに5分間のタイムアタック時間を設け、ベストラップを採用します。

- ・タイムトライアルの成績は次の順序により決定されます。

ベストタイムによる順位(同タイムの場合はセカンドタイム→サードタイムの順で採用します)

ノータイムの場合は最下位となります、ノータイムが複数台いた場合は、公式練習のタイム順で決めます。

- ・当該クラスの参加台数が 14 台以上の場合は、2 グループに分けて行う場合があります。
- ・グループ分けする場合は、ゼッケン順に前半グループ、後半グループに分け、各グループの最小ゼッケン者の抽選により、グループの出走順を決定します。尚、順位は両方のタイムを合わせて集計し決定します。
- ・天候の急変等、明らかな理由で路面状況が変化したと判断し、尚且つ各グループのタイム差が大きい場合(グループ間のトップタイム比較で 102%を超えた場合)は、最速タイムを記録したグループをIN側、もう一方のグループをOUT側とし、各グループの順位はタイム順に決定する場合があります。尚、協議の上決定します。
- ・タイムトライアル中、途中のピットインがあった場合、再出走は出来ません。

●予選ヒート

- ・周回数は各クラスともに 12 周とします。(グリットはタイムトライアル結果の速い順です。)

●決勝ヒート

- ・周回数は各クラスともに 15 周とします。(グリットは予選ヒート結果の速い順です。)

●スタート方式

・RK4 クラス・コマ一60 クラス(予選ヒート・決勝ヒートに適用)

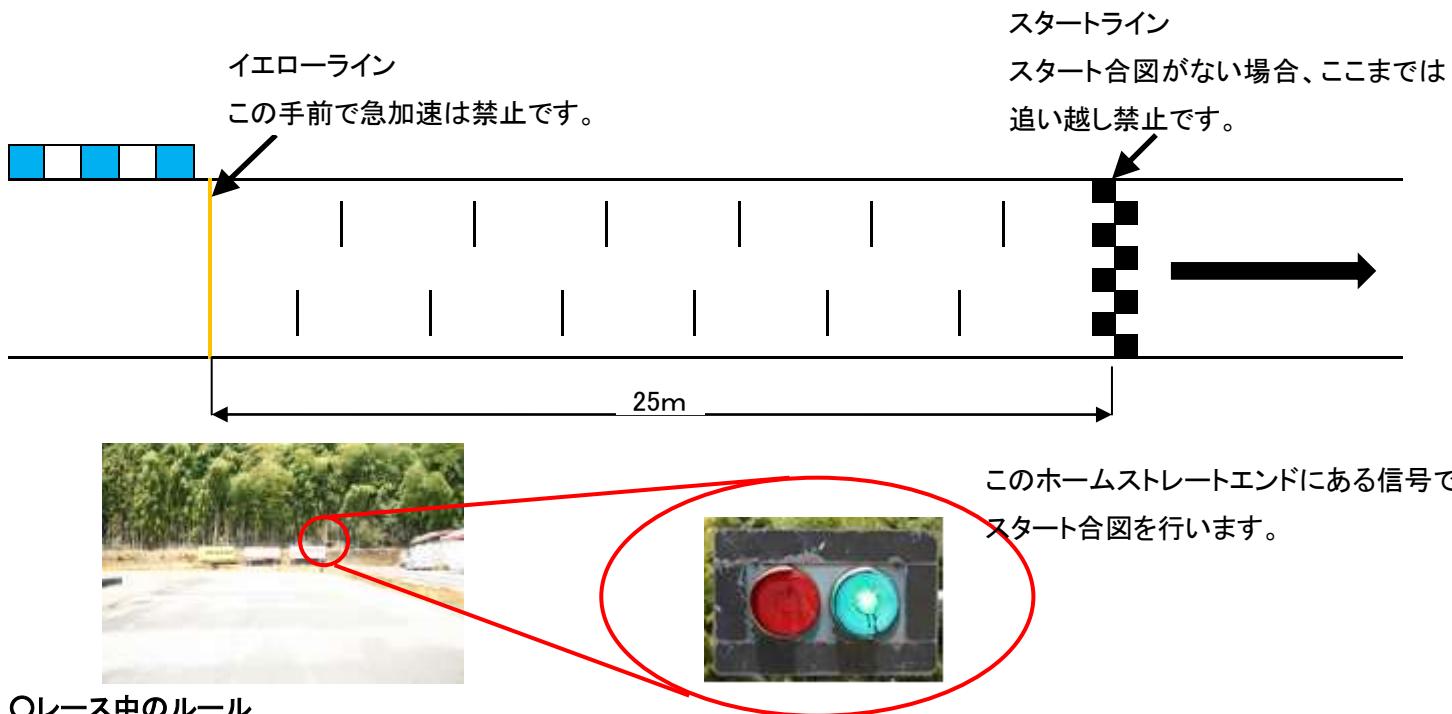
- 1) スタートは信号機によるスタンディングスタートとします。信号機を使用しない場合は、日章旗で合図します。
- 2) 参加者はピットアウト後 1 周し、コース上スタートティンググリッドに車両を止めて下さい。
- 3) 全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、1 周のフォーメーションラップを行います。
- 4) フォーメーションラップを行うことの出来なかった車両については、ピットスタートとなります。
- 5) フォーメーションラップ終了後、再度スタートグリッドに着いた時点で、赤信号が点灯し、数秒後に消灯した時点からレーススタートとなります。
- 6) 規定周回数終了時のトップからチェックマークが振られレース終了となります。

・OPEN クラス・IMPカデットクラス・DUNLOP FD クラス・GT2 クラス(予選ヒート・決勝ヒートに適用)

- 1) スタートはローリングスタートになります。
- 2) 参加者はピットアウト後 1 周し、コース上スタートティンググリッドに車両を止めて下さい。
- 3) 全車スタートグリッドに着いた時点で選手紹介をし、その後、セル付きエンジン→押し掛けの順でエンジンを始動し、ローリング開始となります。
- 4) ローリングに遅れた場合、隊列復帰ライン(ADVANの看板)までであれば、自分のポジションに戻れるものとします。ただし、トラブルなどで隊列から大きく遅れてしまい、白地に赤 **×** 印ボードが出された場合、隊列の最後尾に着かなければなりません。
- 5) ローリング中に停止した場合は、全車が通過するまでは再スタートしてはいけません。再スタート後、隊列の最後尾に着き、自分のグリッドには戻れません。
- 6) スタートラインから 25m 手前に引いてあるイエローラインを自分のカートが通過するまでは、急加速を禁止します。また、スタートライン中央にパイロンが設置してある場合は、グリッド奇数列が内側、グリッド偶数列が外側を通過し、パイロンに接触してはなりません。接触した場合はペナルティ対象です。
- 7) ローリング開始後、赤信号が点灯され、隊列が整い次第、赤信号を消灯し、スタートとなります。ローリングを更に 1 周行う場合は、メインポストオフィシャルにより、もう 1 周の合図(人差し指を挙げて提示又はミススタート旗(緑に黄色の山形))が出され赤信号は点灯されたままになります。
この時ドライバーは、片手を上げ、もう 1 周の合図を後方ドライバーに提示し、再スタートの合図ができるまでグリッドポジションの変更や追い越しは禁止となります。
尚、信号機(シグナル)が故障した場合などは、日章旗によるスタート合図を行います。
- 8) スタートラインから 25m 手前にあるイエローラインを過ぎてから、スタートの合図が出ていれば、スタートライ

ン手前でもカートに並ぶことや追い越しは可能とします。但し、スタート合図が出ていない場合の追い越しはペナルティの対象となります。

9) 規定周回数終了時のトップからチェックマークが振られレース終了となります。



○レース中のルール

- コースは、常に先入優先とし、追い抜きするものは、前方の車の走行を妨害してはならず、また前方の車は、後続の車の進路を妨害してはなりません。
- コース員が、反則行為(プッシング、ブロッキング、その他の非スポーツマンシップ行為)とみなしたドライバーに対して白黒旗が提示されます。さらにその行為が、2回以上に及ぶ時は失格とします。
- いかなる場合も、定められた方向と逆に走行してはなりません。(但し、クラッチ付エンジンは、コース復帰の為、安全確認後の停止している場所での方向転換(Uターン)は認めます。その際もコースを逆走してはなりません。)
- レース中は、危険回避などの止むを得ない場合を除き、コースを外れてショートカットをすることは認められず、当該行為はペナルティの対象となります。
- 衝突を避ける為に、止むを得ずコースアウトした場合は、そのもっとも近いところから、再びレースに復帰しなければなりません。但し、下図のように退避路の通過はショートカットとみなしひペナルティの対象になります。



- レース中、コースエリア内で、停止してしまった場合は、両手を高く上げて後続車にアピールし、他のカートが過ぎ去ってから、後方の安全を確認し、再スタートします。尚、再スタートできない時は、レースの障害にならないよう、自分のカートをコース外の安全な場所に移動し、ヘルメットを被ったままレースの終了を待たなければなりません。
- レース中、コースエリア内で停止した時、コース員により危険回避の為、移動をされる場合があります。その後、自力で再スタートできる場合のみ再スタートを認めます。自力で再スタートできない場合は、リタイヤ扱いとなり、コース員によって排除されます。

- コース上における再スタートや修理は、ドライバー自信で行わなければなりません。(修理はコース外の安全な場所で行うこと)
- ドライバーは、工具等を携帯することはできません。又、工具を取りにピットに戻ったり、ピットクルーがコース内に立ち入って作業したりすることは、禁止します。
- ピットイン、ピットアウトは決められた場所で行わなければなりません。
- 指定された作業エリア以外での作業を行ってはなりません。これに違反した場合はペナルティが科せられます。
- 事故にみまわれたカートは、コース員によって、検査の為に停止を命じられる場合があります。

○給油について

レース中の給油は禁止する。

○レースの中止

- 事故、安全性の問題またはその他、いかなる理由によっても、競技を中断する必要があるとみなされた場合、競技長の指示により赤旗が提示されます。その場合、全てのドライバーはただちにレースを中断し、コース員から指示された場合は、どの時点でも停止できる態勢で、ホームストレート上の指示された場所のコース左右両端まで徐行して停止してください。
- レース中断の結果は下記の通りです。
 - ・レースが 60%終了している場合、レースは成立したとみなされ、赤旗提示前の周回時点の終了順序で結果が決定となります。
 - ・60%未満の場合、レースは再走行となり、第 1 回目のスタートは無効、取り消しとなります。
※決勝レースでは、中断する前の周にフィニッシュラインを超えたドライバーだけが、最スタートに参加できます。
 - ・赤旗中断の場合、競技長の指示があるまでピットクルーはコースへの介入、及び車両の整備を行ってはなりません。
 - ・ピットエリアで作業中の車両に対しても上記が適用され、グリッド上に戻れない車両については、ピットスタートとなります。
 - ・コース上、ピット作業エリアでの燃料の補給は禁止されます。但し、競技長が認めた場合のみ、ピット作業エリアでの燃料補給を認めます。

○ドライバーサイン

- ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対しては、ペナルティが科せられる場合があります。
 - ・ピットイン・ピットアウトする場合は片手を高く上げて、他車へ合図をする事。
 - ・コース上で停止した場合は両手を高く上げて、他車へ合図をする事。

○レース終了

- レースの着順 1 位のドライバーがフィニッシュライン(ゴールライン)を通過後、2 分以内に自力で同ラインを通過したドライバーに対して、チェックマーク旗が振られその周回までがカウントされます。又、フィニッシュラインを通過する際には、ドライバーはカートに乗車した状態でなければなりません。(手押しで通過することは禁止です)
- ドライバーはフィニッシュライン通過後、徐々にスピードを落とし、正規のコースを走行してピットインしなければなりません。この時、追い越しは禁止となります。
- 先頭のカートが、規定の周回数を終了する以前に、誤ってチェックマーク旗が表示された場合は、その時点をもって競技終了となります。また、遅れてチェックマーク旗が表示された場合は、チェックマーク旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして、順位が決定されます。

○完走(完走扱い)の定義

- 完走とは、レースの着順 1 位のドライバーがフィニッシュライン(ゴールライン)を通過後、2 分以内に自力で同ラインを通過したドライバーに対して、チェック旗が振られその周回までがカウントされます。フィニッシュラインを通過する際には、ドライバーはカートに乗車した状態でなければなりません。(手押しで通過することは禁止です)又、チェック旗とは関係なく、規定周回数の 1/2 周回(50%以上)を完了していれば完走扱いとなります。

○順位の決定

- レースの順位は、予選・決勝ともに次の順序により周回数の多い順で決定されます。

- 1)完走者(チェックを受けたドライバー)
- 2)完走者(チェックを受けていないドライバー)
- 3)周回数に基づく未完走者
- 4)失格者

○車両検査-2(タイムトライアルと予選ヒート終了後の重量検査)

- コマ-60 と RK4 クラス以外の全クラスが対象で、各ヒート(TT、予選)後の車検(重量検査)を行います。

- ・検査は、コントロールタワー南側エリアで、車両+装備込み人間の重量を計測します。

※車検において不合格の場合、次のレースは最後尾スタートになります。(複数いる場合はタイム順)

○車両検査-3(決勝ヒート終了後検査)

- コマ-60 と RK4 クラス以外の全クラスが対象で、各クラスの決勝ヒート終了後にカートを保管して行います。

- ・対象者は上位入賞者(基本は 1 位~3 位までの方ですが参加人数により変わります)のみです。

- ・検査項目はクラスごとに変わりますが、使用タイヤ、エンジン型式、スキッシュ、重量検査等になります。

- ・GT2クラスとDUNLOP FDクラスの方は、スキッシュ計測の為、プラグを外しておいて下さい。

※車検において不合格の場合は失格扱いになり、次順位の方が繰り上げになります。

○賞典と副賞

- 各クラスともに決勝ヒートの順位により決定します。

- 賞典はドライバーに対して行われます。

- 賞典と副賞の内容は全クラス、下記の通りとなります。

- ・優勝:トロフィー+副賞
- ・準優勝:トロフィー+副賞
- ・3 位:トロフィー+副賞(参加台数が 6 台未満(5 台以下)の場合はなし)
- ・4 位:副賞(参加台数が 8 台未満(7 台以下)の場合はなし)
- ・5 位:副賞(参加台数が 10 台未満(9 台以下)の場合はなし)

※賞典の対象は、決勝ヒートにおいて完走扱いになったドライバーのみとなります。

○シリーズ賞

- 全クラス **7 大会**(第 1 戦~第 7 戦)中 **5 大会以上**の開催で**シリーズ成立**とします。

- シリーズポイントは下記のポイント表参照のこと

- 全クラス、決勝ヒートのポイントは参加ドライバーに与えられます。

- 有効ポイント制**を採用し、**第 1 戦~第 6 戦**の内の**4 戦分**を**有効ポイント**としカウントします。さらに、**FINAL(第 7 戦)**を加点し、合計ポイントを算出します。

※**6 大会**のポイントの中で、獲得ポイントの多い順から**4 大会分**が**有効ポイント**となります。

※**FINAL(第 7 戦)**のポイントは通常ポイントの**1.5 倍**とします。

※**総獲得ポイント**は**〈有効の獲得ポイント〉+〈FINALの獲得ポイント〉**となり、獲得ポイントの多い順からシリーズ順位を決定します。

●獲得ポイントが同一の場合は、以下の順で決定します。

- 1)上位入賞回数が多い順
- 2)以上でも決まらない場合は、最終戦のポイントが多い順
- 3)以上でも決まらない場合は、出場回数が多い順
- 4)以上でも決まらない場合は、第1戦のポイントが多い順(以降、第2戦ポイント…第6戦ポイントの順)

●通常ポイント(第1戦～第6戦)

参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
4～6台	10P	8P	6P	5P	4P	3P				
7～9台	12P	10P	8P	6P	5P	4P	3P	2P	1P	
10台以上	15P	12P	10P	8P	6P	5P	4P	3P	2P	1P

●FINALポイント(第7戦)通常ポイントの1.5倍

参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
4～6台	15P	12P	9P	7.5P	6P	4.5P				
7～9台	18P	15P	12P	9P	7.5P	6P	4.5P	3P	1.5P	
10台以上	22.5P	18P	15P	12P	9P	7.5P	6P	4.5P	3P	1.5P

○シリーズ賞典・副賞(全クラスに適用)

- ・優勝:トロフィー+副賞
- ・準優勝:トロフィー+副賞
- ・3位:トロフィー+副賞
- ・4位:副賞

※この他にも賞典を追加する場合があります。

※シリーズ副賞の授与は、1レース当たり平均台数が5台以上の場合に限る。

○ペナルティに関する事項

- 競技に関する規則の違反者に対し、ペナルティが科されます。
- ペナルティの種類はタイム調整、順位降格、失格などがあります。
- 違反に対するペナルティは全て競技長の判断により決定されます。
- 競技中の違反行為については、ドライバーを停止させることなくペナルティを科す場合があります。
- 主催者は状況に応じてペナルティを軽減したり強化したりすることが出来る。
- ペナルティの審議対象となる行為。
 - ・フラッグ無視(フラッグの種類は別紙、旗信号機の説明図参照の事)
 - ・車両規則違反(レギュレーション以外のものを使用した場合や不備など)
 - ・服装規則違反(レギュレーション以外のものを使用した場合や不備など)
 - ・ローリング隊列違反(ポジション復帰違反・その他隊列を乱す行為など)
 - ・スタート隊列違反(隊列を乱す行為・ジャンプスタートなど)
 - ・走行中の違反・妨害行為。(逆走・ショートカット・蛇行運転・カットイン・エッジイン(無理な突っ込み)・プッシュアウト(幅寄せ)・プッシング(後方からの接触)・悪質なブロックング・その他の走行妨害行為など)
 - ・ピットイン・ピットアウト時の後続車への合図違反。(片手を高く上げない行為)
 - ・コース上で停止した場合の後続車への合図違反。(両手を高く上げない行為)
 - ・ピットエリア・ピットロード違反行為(ピットロード徐行違反、作業違反など)
 - ・ドライバーのモラル違反(指示無視、挑発行為、暴力行為、その他クレームなど)
 - ・決められた場所以外の作業(ピットエリア以外の作業など)

- ・その他の危険行為

○ピット、パドックエリア

- ピット内、及び、パドックエリアは火気、及び、発火物(タバコも含む)の使用は厳禁です。タバコを吸う場合は指定された喫煙所でのみ可能とします。

○自動計測装置(トランスポンダー)の装着

- 参加者は出走時に自動計測器(トランスポンダー)を車両に取り付けなければならない。取り付けを拒否した場合は、当該車両およびドライバーは出走を認められない。
- 取り付けは、専用ホルダーで、熱や振動の受けにくい場所に、タイラップ等で確実に固定すること。また、車両ごとの取り付け場所の違いによって、自動計測上と見た目の順位が変わる場合がありますので、注意して下さい。
- 自動計測装置(トランスポンダー)の配布は、選手受付時に行ない、返却はレース終了後からとする。万一破損、紛失した場合、1個につき50,000円が主催者より請求される。
- 自己所持する自動計測装置(マイポンダー)を使用する場合は、事前にID. Noを登録すれば使用ができます。但し MYLAPS 社(旧 AMB 社)製の TranX160、TranX250、TranXPRO、X2 トランスポンダーに限る。

○装備

- ヘルメット(フルフェイスに限る)

日本工業規格(JIS) T8133:2007

JIS-2 種

SNELL規格(SA2000 以降)

JAF 公認カートヘルメット など

- 服装

・OPEN・コマー60・IMPカデット・DUNLOP FD クラス・GT2 クラス

充分な強度を備えた皮製、又は、過去 10 年以内に JAF, FMK/FIA, CIA/FIA の公認を受けた実績を有するカート用スーツの使用が義務づけられます。

スーツの一部が破けていたり、擦り切れていたりした場合は不可とします。

レンタルスーツが数着ありますので、ご利用下さい。但し、レンタルカート走行申し込み者優先とします。

また、IMP カデットクラスのみ、ネックガード、リブプロテクターを必須とします。

・RK4 クラス

レーシングスーツを推奨しますが、厚手の長袖、長ズボンでも可とします。(スエットは禁止です。)

- グローブ

レーシンググローブなどの皮やスエード等擦れなどに強い素材を推奨します。

- シューズ

レーシングシューズなどの足首まで覆うもので、ペダル操作に支障をきたさないものを推奨しますが、運動靴でも可とします。

○排気音量制限

- オフィシャルがうるさいと感じた車両については、主催者が排気音量測定をする場合があり、改善されない場合はレースから除外される場合があります。

○主催者の権限

- 出場参加申込に際して、その理由を示すことなく参加を拒否することが出来る。
- 大会スポンサーの広告を参加車両に貼り付けすることが出来る。
- ゼッケンナンバー・ピットの割り当て等にあたり各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- その他、最終権限は主催者にあるものとする。

○損害に対する責任

- 参加者は、参加車両、及び、その付属品、ならびにコースの施設、機材、器具に対し、損害補償責任を負うものとする。
- 主催者、及び、大会役員の業務遂行に起きた、ドライバー、ピット要員の死亡、負傷、及び、車両の損害に対して、主催、後援、協力、協賛するもの、及び、大会役員は、一切の保障責任を負わないものとします。
- 参加者が未成年の場合は親権者が責任を負うものとする。

○大会役員の責任

- 参加者、ドライバー及びピットクルーは大会役員が一切に損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならぬ。すなわち、大会役員はその職務に最善を尽くすことは勿論であるが、その行為によって起きた参加者、ドライバー、ピットクルー及び競技車両の損害に対して大会役員は一切の補償責任の無いことをいう。

○抗議

- 抗議はできない。抗議により大会進行の妨げや著しく非難があった場合、競技監督はその当該者に対して罰則を与えることが出来る。

○大会延期、中止

- 主催者は、競技の一部あるいは、全部を延期、又は、中止することができる。
- イベントの全部を中止し、あるいは 24 時間以上延期する場合は、エントリーフィーは返還されます。但し、保険金は返還されません。
- エントラント、及びドライバーは、これによって生じる損失について、主催者に抗議することは出来ません。
- 主催者は、大会審査委員会の承認を得て、イベントの内容を変更する権限をあわせて所有するものとします。
- 以上に対する抗議は一切認められません。

○肖像権及び個人情報について

- レース主催者は、次の個人情報について、レース運営に必要な範囲で利用いたします。
 - ・参加者の受付名簿作成等に必要とされる情報
 - ・レースリザルト(成績表)の作成に関する情報
 - ・その他、レースイベントを円滑に行うために必要とされる情報
- 大会期間中に撮影された写真・ムービーなどを、主催者及び関係者が、ホームページ、雑誌、SNSを含む一般公開動画サイト等に使用することがあります。

○公式通知の発行

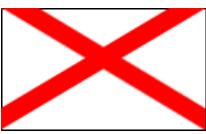
- 本規則書に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則書に生じた必要指示事項は公式通知によって示されます。

公式通知は

- ① エントラントもしくはドライバーの住所に郵送される。
- ② 大会事務局に掲出される。
- ③ パドックの掲示板に掲出される。
- ④ ドライバーズブリーフィングで指示される。
- ⑤ 緊急の場合は場内放送で伝達される。

以上 の方法によって、参加者に通知されます。

○旗信号機の意味

旗の種類	旗の意味	旗の種類	旗の意味
国旗 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムトライアルスタート合図。 ・レーススタート合図 (通常は、1コーナーアウト側の信号を使用します。) 	オレンジボール旗 +文字付きサインボード 	<p>この旗を提示されたドライバーは、自分もしくは他のドライバーに危険を及ぼすような問題に見舞われており、早急にコース上から退去し安全な場所に停止、又はピットインする。</p> <p>サインボードを使用しない場合は指差しになります。</p>
黄旗 	<p>危険予告 コース上(ランオフエリアを含む)に危険がある。 減速、停止準備、 該当する危険ポイントまで 追い越し・追い抜き禁止。</p>	白地に赤×印の表示旗 	<p>ローリングスタートでローリング中に隊列から大きく遅れてしまい、この表示板が出された場合、隊列の最後尾につかなければならぬ。</p>
青旗 	<p>後方より速いカートが近づいている場合に提示 (静止)後方より速いカートが近づいて来ているので、現在の進行方向を維持 (振動)後方より速いカートが近づき、追い越そうとしているので、進路をゆずる。</p>	対角線で黑白に分けた旗 +文字付きサインボード 	<p>非スポーツマン的行為に対して、最後の警告 非スポーツマン的行為とは、他のカートに対し故意のプッシング、ブロックイン、接触、蛇行運転などを言う。</p>
赤旗 	<p>レース中断 全てのドライバーは最大限の慎重さと注意をもって徐行し、オフィシャルの指定した場所に車両を止める。</p>	黒旗 +文字付きサインボード 	<p>指示されたドライバーへのピットイン命令 当該ドライバーは、ピットイン後、オフィシャルの指示に従う。</p> <p>この旗を出さずにレース後に(タイム・周回など)ペナルティを科す場合あり。</p>
緑に黄色の山形 	<p>ミススタート 再度スタートを行う場合に使用する。 加速タイミング早過ぎ、スタートライン手前追い越しなど。</p>	チェック旗 	<p>レース終了。 レース終了時に、この旗を2回以上受けるとダブルチェックペナルティの対象となります。</p>
緑旗 	ローリングスタート、又は、フォーメーションラップスタート合図。		

※黄旗の後の追い越し禁止区間は、黄旗から黄旗原因の場所までとなります。

技術規定

○各クラス共通規定

●カート全般

- ・サイドボックス(サイドカウル)、フロントゼッケンパネル、及び、フロントフェアリング、リアバンパーを必須とします。
- ・バンパーは必ず前後に装着するものとします。(リアバンパーは大型が望ましい)
- ・サイドバンパーの役割は、サイドボックス(サイドカウル)により補われるものとします。
- ・コース上にオイルを流出飛散させる構造物の取り付けは禁止します。
- ・チェーンガードは必須とします。(フルカバーが望ましい)
 - 1)車両上方向からみてチェーンが見えない状態であること
 - 2)車両側面よりみて、エンジン側スプロケットとアクスル側スプロケットを結ぶ線上の部分を有効に覆っていること
 - 3)車両側面よりみて、エンジン側スプロケットが見えない状態であること

●ゼッケン

・スプリントレースに出場される方

- 1) ゼッケンは各自で用意していただきます。
- 2) ゼッケンは、フロントゼッケンパネル、サイドボックス(左右)、の最低3箇所は付けてください。
- 3) ゼッケンベースとゼッケンの色は自由としますが、同系色は避けて見易い色(黄色ベースに黒文字、白色ベースに赤文字か黒文字など)をお願いします。(蛍光色は禁止します。)
- 4) ゼッケンベースの大きさは□170mm以上で、数字は縦150mm以上とします。
- 5) 希望のゼッケンは、RK4 クラス以外は 2~99 までの数字を選び、エントリー用紙に希望ゼッケンを記入して下さい。但し、同じゼッケンの希望者が先着であった場合は受付順を優先します。
- 6) RK4 クラスのマイカートの方は、ゼッケンを当方で指定しますので、そのゼッケンを付けてください。

※ゼッケンNo.1~15はIMPレンタル車両で使用の為、マイカートの方はNo.16~19になります。

車両規定

クラス名称	エンジン規定	エンジン機種	シャシー	タイヤ	最低重量
コマー60 クラス	メーカー出荷状態とし一切改造不可とする。	•comer W60	自由 但し、ジュニアシャーシの市販車に限る。	ドライタイヤ •F:SL83(SLJ) •R:SLJ レインタイヤ •BS:SL94 •YH:SL03 •DL:SLW2	規定なし
RK4 クラス (IMP 4st レンタルカート:GX 200、又は同等車両)	メーカー出荷状態とし一切改造不可とする。 自動遠心クラッチ付に限る。 セルスターター付きも可とする。	•ホンダ製など GX200 ノーマルマフラー 又は、海外製のGX200 コピー エンジンなど 但し、OHV式で性能は同等品に限る 不明な場合は問い合わせ願います。	自由 但し、市販車に限る。 ※ジュニア用シャシーは不可とします。	ドライタイヤ •DL:DF2 •DL:DRK-SP ダンロップ製レンタルカート専用タイヤに限る レインタイヤ使用不可	規定なし
OPEN クラス	改造制限なし ミッショング付きも OK サイレンサー必須	•2st 80cc~125ccくらいまで コメット K55 RK100 AVANTI X30 MAX125 YZ80/85/125 RS80/125 など •4st 250cc~ WR250 など ※基本的に、カート用で実績があるエンジンであれば何でも OK です。 2戦目以降、ハンディ(タイム又はウエイトハンディ)を変更する可能あり。	自由 但し、市販車に限る。	ドライタイヤ •自由 レインタイヤ •自由	① 2stエンジン ●85cc 以下 ミッショング無し: 規定無し ミッショング付き: 135Kg ● 86cc ~ 100cc ピストンバルブ: 135Kg リードバルブ: 145Kg ● 101cc ~ 125cc ピストンバルブ: 145Kg リードバルブ: 155Kg ② 4stエンジン 規定無し

クラス名称	エンジン規定	エンジン機種	シャシー	タイヤ	最低重量
DUNLOP FD クラス	メーカー出荷状態とし一切改造不可とする。	ヤマハ製 KT100SD KT100SC KT100SEC	自由 但し、大人用シャシーの市販車に限る。	ドライタイヤ ・DL:SL-FD レインタイヤ ・DL:SLW2 ・DL:SL94	135Kg
GT2 クラス (2st空冷ピストンバルブ 100cc)	各エンジンともメーカー出荷状態とし一切改造不可とする。	ヤマハ製 KT100SD KT100SC KT100SEC <u>KT100FP/SP※</u> PRD 製 <u>RK100※</u> などのピストンバルブエンジンに限ります。 上記以外のエンジンについては問い合わせねがいます。 ※使用エンジンによりハンディを付けます。 (<u>※印エンジンは調整ハンディがありますので P17 のハンディを参照して下さい。</u>)	自由 但し、市販車に限る。	ドライタイヤ 自由 ※但し、YM M、YMHなど のハイグリップ タイヤに属する タイヤは不可と します。 ※使用するタ イヤによりハン ディがあります。 レインタイヤ ・BS:SL94 ・YH:SL03 ・DL:SLW2	大人用シャ シー使用の 場合: 135Kg ジュニア用 シャシー使 用の場合: 130Kg
IMP カデットクラス	エンジンはメーカー出荷状態とし一切改造不可とする。 クラッチ・セルストレーツ付に限る。	ヤマハ製 KT100SEC(カデット仕様) シリンダヘッドガスケットは純正の 7ET-11181-10(t=0.4mm)のアルミ板を 3 枚以上入れ、ガスケットの総厚みが 1.2 mm未満にならない事。 ヤマハ純正のジョイントキャブ レ タ 一 φ 14.5 m m (7YU-13586-09)の装着。	自由 但し、ジュニアシャシーの市販車に限る。	ドライタイヤ SLJ 又は同等品 レインタイヤ ・BS:SL94 ・YH:SL03 ・DL:SLW2	130Kg

○エンジン規定

●コマ一60 クラス、IMPカデットクラス、DUNLOP FD クラス、GT2 クラス共通項目

- ・エンジンは、メーカー出荷状態とし、改造(切削・付加等)は一切禁止します。(例:ボアアップ、ポート加工、ヘッド面研磨、排気・吸気系、電気系、その他全て)但し、年式変更に伴う純正共通部品相互の交換は認めます。
- ・エンジン構成パーツの取り付け方法、取り付け方向はメーカー出荷時の状態でなければなりません。但し、規定内のメーカー純正消耗品交換部品やスキッシュ調整ガスケットの交換は認められます。

●OPEN クラス

- ・カート用エンジンで実績があれば、何でもOKですが、エンジンによりハンディがあります。
- ・改造も自由です。

●コマ一60 クラス

- ・キャブレターは純正(ティロットソンH116、チョークレバー付)のみとし、改造は不可とする。但し、純正品のニードル調整ノブの使用は認めます。
- ・マフラーは、純正品の標準タイプのみ使用可能とし、改造は一切認めません。

●IMPカデットクラス

- ・エンジンは、ヤマハ製 KT100SEC(カデット仕様のセル・クラッチ付)のみとなります。
- ・シリンダヘッドガスケットは純正の 7ET-11181-10($t=0.4\text{mm}$)のヘッドガスケット(アルミ板)を3枚以上入れ、ガスケットの総厚みが 1.2mm未満にならない事。又、キャブレターに $\phi 14.5\text{mm}$ のメーカー純正テーパージョイントキャブレター(7YU-13586-09)の装着が義務となります。

●GT2 クラス

- ・使用できるエンジンは、ヤマハ製 KT100(SD、SC、SEC、FP/SP)、PRD 製 RK100などのピストンバルブエンジンで排気量は 100cc未満です。(エンジンによりハンディがありますので P17 のハンディを参照して下さい)
- ・KT100SD,SC,SEC(SS 仕様)の場合、スキッシュエリア(燃焼室圧縮比制限)の確保が規制されます。エンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所を計測し、その数値の合計が 4.5mm 以上あることとします。数値が確保できない場合は、メーカー純正の 7ET-11181-10($t=0.4\text{mm}$)のヘッドガスケット(アルミ板)の他に、SLO 公認(銅製の 3 種類)調整用ガスケットのいずれかを用いて調整してください。(枚数の制限はありません)

〈指定調整用ガスケット〉

1. ヤマハ純正(7ET-11181-10)アルミ製($t=0.4\text{mm}$)
2. SLO 公認(0.05mm、0.1mm、0.2mm の 3 種類)銅製

〈使用例〉

調整用のガスケットは、指定されたものであれば枚数や組合せに制限はありません。

1. 純正のアルミガスケットのみを 1 枚か 2 枚以上入れて調整
2. 純正のアルミガスケットと SLO 公認の調整用ガスケット(3 種のいずれか)を組み合わせて調整
3. SLO 公認の調整用銅ガスケット 3 種のいずれかを組み合わせて調整

〈計測方法〉

プラグホールから $\phi 3\text{mm}$ 以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所(ドライブ側と電気側)にセットし、クランクシャフトを 1 回転させ潰れたハンダの厚みを計測します。ドライブ側と電気側の潰れたハンダ厚みの合計が 4.5mm 以上あればスキッシュエリアは合格とします。

●DUNLOP FD クラス

- ・使用できるエンジンは、ヤマハ製 KT100(SD、SC、SEC)のメーカー純正品とし、改造は不可とする。
- ・GT2 クラス同様にスキッシュエリア(燃焼室圧縮比制限)の確保が規制されます。

スキッシュ規定は、GT2 クラスに準じます。

ハンディについて

○シャシーによるハンディ(全クラスに適用)

●GT2 クラス及び OPEN クラスでジュニア用シャシー使用の場合

- ・大人用シャシーに対し重量の差を無くす為に、ウェイトハンディを付けます。
詳細は、車両規定で確認して下さい。

○エンジンによるハンディ

●OPEN クラス

- ・エンジンにより2戦目以降ハンディ(タイム又はウェイトハンディ)を変更する可能性があります。

●コマ一60 クラス

- ・エンジンのハンディは設けません。(規定のエンジンを使用して下さい。)

●RK4 クラス

- ・IMP4stレンタル車両、または同等車両の為、ハンディなし

●IMP カデットクラス

- ・エンジンのハンディは設けません。(規定のエンジンを使用して下さい。)

●DUNLP FD クラス

- ・エンジンのハンディは設けません。(規定のエンジンを使用して下さい。)

●GT2 クラス

- ・エンジン規定の GT2 クラスに合格したヤマハ製KT100(SS 仕様)エンジンを基準とし、それ以外のエンジンに関しては、ハンディを設けます。(ハンディとして ウエイト追加、ヘッドガスケット追加、ジョイントキャブレター径変更、ギヤ比指定、ハンディタイム加算などが考えられます。)

ハンディはエンジン特性を考慮し、協議の上、決定します。

・調整ハンディ確定エンジン

- ・ヤマハ製 KT100FP/SP → ヘッドガスケット追加によりスキッシュエリアの確保(KT100SS 仕様と同様にエンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所の合計が 4.5mm以上になるように調整)

※スキッシュエリアの調整は、P16 のエンジン規定 GT2 クラスの調整用ガスケットの説明文などをよく読んで対応お願いします。

- ・PRD 製 RK100 → 純正のヘッドガスケット追加によりスキッシュエリアの確保(KT100SS 仕様と同様にエンジンのドライブ側とイグニッションコイル側の 2 ケ所の合計が 4.5 mm以上になるように調整)

※スキッシュエリアの調整は、P16 のエンジン規定 GT2 クラスのヘッドガスケット測定方法の説明文などをよく読んで対応お願いします。また、ガスケットは純正品を組合せて行ってください。(通常より枚数が多くなるので注意して下さい)

※上記のハンディは、第1戦目に適用となり、2戦目以降は変更になる場合があります。尚、変更する場合は、公式通知でお知らせします。

※上記以外のエンジンハンディについてはその都度、協議の上、決定しますので問い合わせ下さい。

○タイヤによるハンディ

●OPEN クラス

・タイヤによるハンディは設けません。(タイヤは自由です。)

●コマーレ 60 クラス

・タイヤによるハンディは設けません。(規定のタイヤを装着願います。)

●RK4 クラス

・タイヤによるハンディは設けません。(規定のタイヤを装着願います。)

●GT4 クラス

・タイヤによるハンディは設けません。(規定のタイヤを装着願います。)

●IMP カデットクラス

・タイヤによるハンディは設けません。(規定のタイヤを装着願います。)

●DUNLOP FD クラス

・タイヤによるハンディは設けません。(規定のタイヤを装着願います。)

●GT2 クラス

・SL17、SL07、SL9、MOJO D1、SL-FD…ハンディなし

・MOJO D2、SL6 などのセミハイグリップタイヤに属するもの…**0.3 秒を TT のタイムに加算**

※YMM、YMH などのハイグリップタイヤは不可とします。

※使用タイヤにより、上記のハンディをタイムトライアル、又はレースタイム、又は両方のタイムに加算します。

○連続優勝ハンディ(全クラスに適用)

●同年度に 2 回連続して優勝したドライバーは、次戦出場時に 4Kg のウェイトハンディを付けます。又、3 回連続優勝の場合は次戦にプラス 4Kg(合計 8Kg)、4 回連続はプラス 4Kg(合計 12Kg)…とウェイトハンディを付けます。

※連続優勝とは 2 戦(又は 3 戦、又は 4 戦)連続優勝した場合であって、間に不参加などあった場合は除きます。

※ウェイトは当方で用意しますが、固定は各自でお願いします。(レース終了時必ず返却の事)

●当日の順位が 3 位以内の場合は、次戦のハンディは現状維持のままでし、ウェイトハンディがクリア(ハンディなし)になるのは、4 位以下になった場合のみとします。

○カートに関する事項

●シャシー・エンジン・タイヤの登録について

競技に使用するシャシー型式・エンジン型式・タイヤ型式は、基本的に申請書(申し込み用紙)に登録されたもののみとしますが、それ以外に変更する場合は、当日の走行前に申し出てください。申請がない場合はペナルティが科される場合があります。

※シャシー・エンジン・タイヤは、同じ銘柄(メーカー・型式)または同等品であれば使用数の上限はありません。

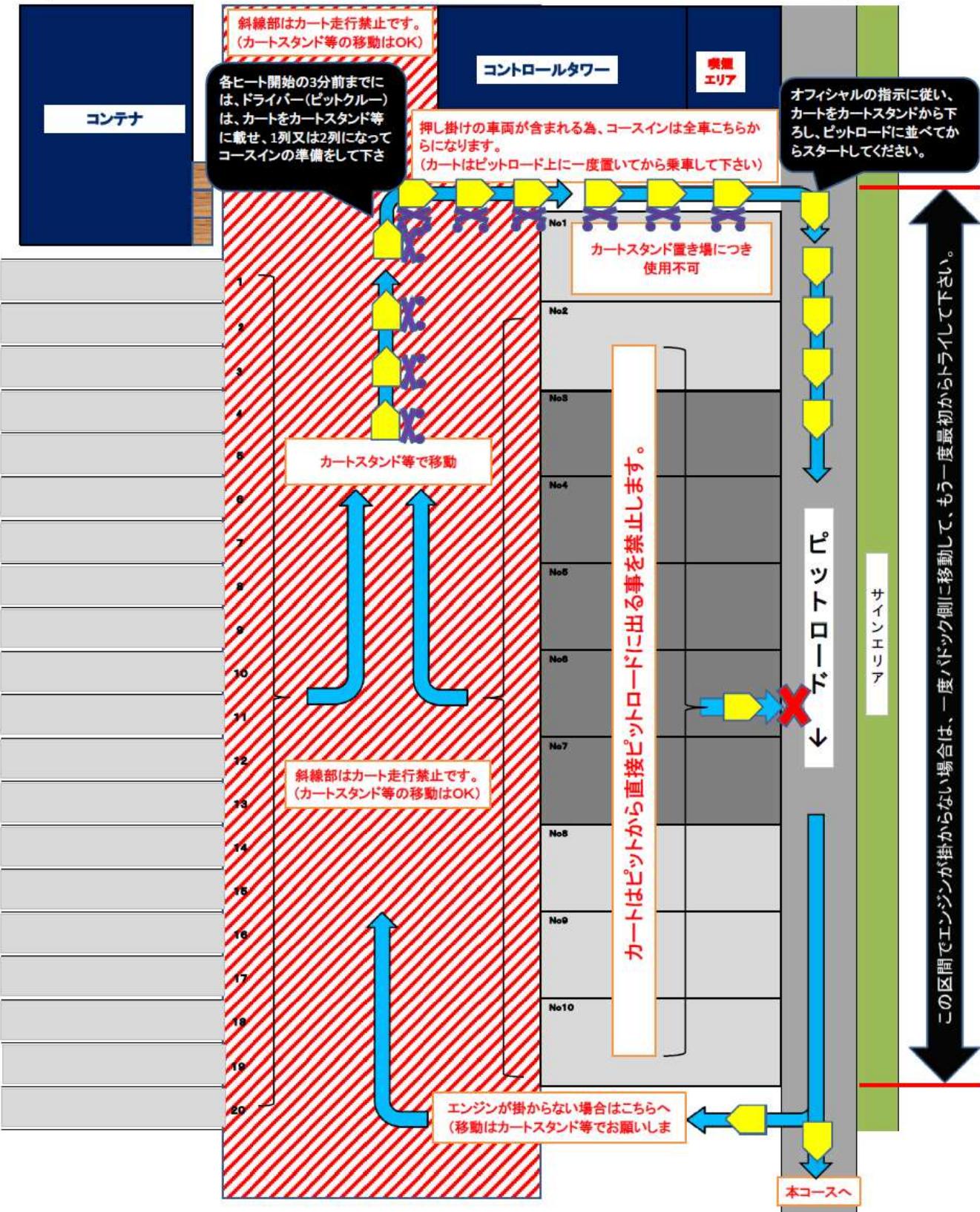
※競技途中に別の銘柄(メーカー・型式等)のものに交換(例えば、タイヤを SL07→MOJO D2 とかに交換)する必要がある場合は、必ず申し出てください。但し、交換にした場合、次ヒートのグリッドは最後尾となります。(申請が遅い順で最後尾になります。)

※同等品かどうかの判断ができない場合は、交換前に申し出てください。

○各ヒートスタート前のパドック内カート移動経路について(全てのクラス・レースに適用)

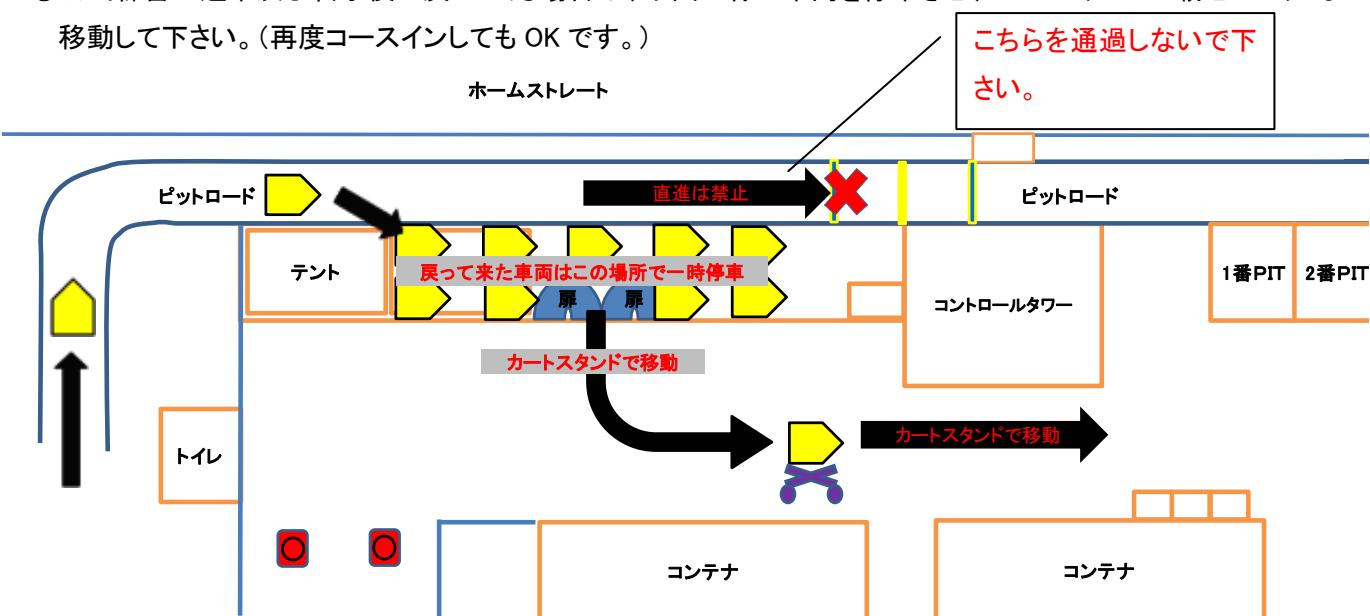
●レース当日は、安全とスムーズな運営上の理由から、下図の様にパドック内のカートの移動経路を制限しますので、ご理解、御協力お願いします。

IMP Kart Race パドック内カート移動経路(コースイン手順)



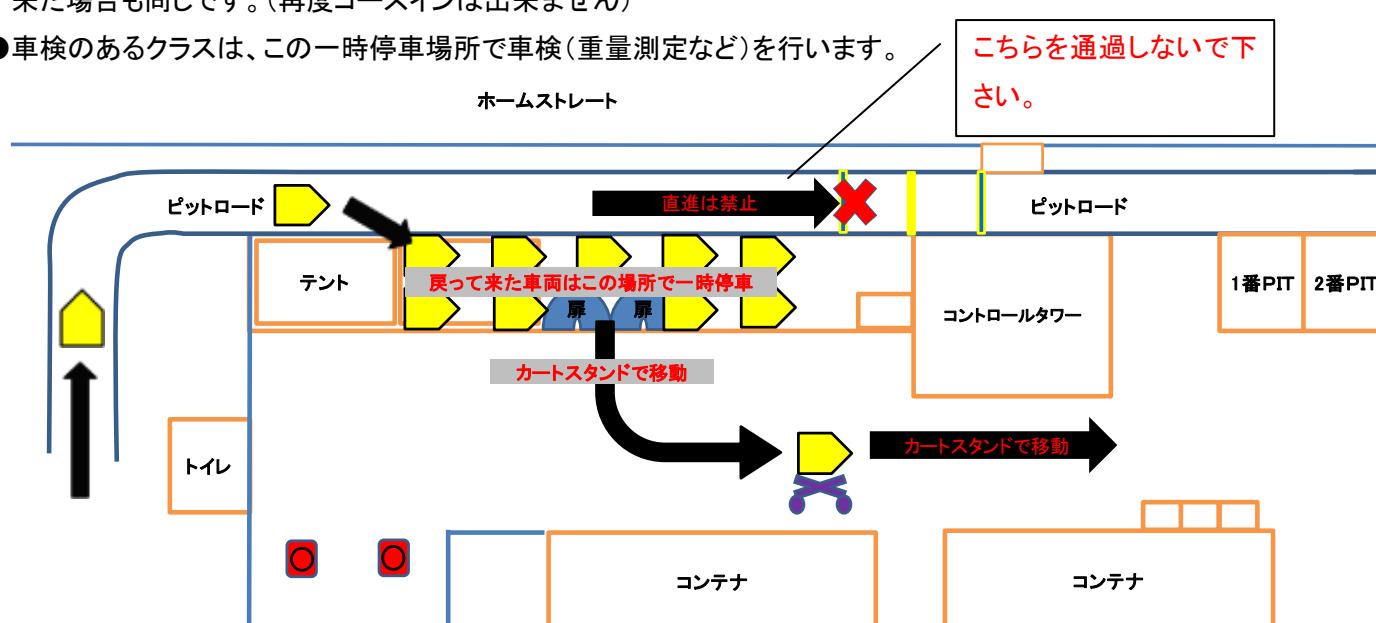
○スプリントクラスの公式練習終時カート移動経路について

- 公式練習の途中及び終了後に戻ってくる場合は、下図の様に車両を停車させ、カートスタンドに載せてピットまで移動して下さい。(再度コースインしてもOKです。) こちらを通過しないで下



○スプリントのタイムトライアル、及び予選ヒートと決勝ヒート時カート移動経路について

- タイムトライアル及び予選と決勝ヒート終了後(チェックを受けた後)は、下図の様に車両を停車させ、カートスタンドに載せてピットまで移動して下さい。又タイムトライアル中、チェックを受けずに、途中でピットロードに戻ってきた場合も同じです。(再度コースインは出来ません)
 - 車検のあるクラスは、この一時停車場所で車検(重量測定など)を行います。



2019年からの変更点

1. GT4 クラスのスプリントレースを廃止
 2. 耐久レースを廃止
 3. スプリントに OPEN クラスを新設
 4. GT2 クラス・OPEN クラス・DUNLOP FD クラス・IMP カデットクラスに最低重量規定追加
 5. ダブルエントリー(スプリント2クラス参加)の方は、片方のクラスのエントリー費から 2,000 円引きを追加
 6. GT2 クラスの KT100 標準エンジン以外のエンジン(KT100FP/SP、RK100 など)のハンディをスキッシュ調整のみに変更(重量 15Kg ハンディは削除)
 7. GT2 クラスのレンタルカートエントリー費を 20,000 円に変更(Rd1 に新品タイヤ投入の為)